

# 令和7年度 骨粗鬆症リエゾンチーム会PDCAサイクル



年間目標: チームメンバーが、骨粗鬆症・転倒骨折予防に関する専門性と多職種連携力を高め、継続的で質の高いサービスが提供できる

- 活動計画
1. チームメンバーが、骨粗鬆症管理と二次骨折予防の標準的知識を共有する。
  2. 多職種間、地域との情報共有と協働を円滑にし、チームとして機能する。
  3. 活動成果を可視化し、継続的な改善につなげる。

Plan

## 1. 知識・専門性の向上に向けた行動計画

- 1) 骨折、骨粗鬆症、薬物療法、生活指導に関する知識の共有と統一
- ① 年1回以上骨粗鬆症・FLSに関する院内研修会と、チーム内での勉強会の開催
- ② 院内ガイドラインやルールをまとめたマニュアルの整備と内容の共有

## 2. チーム力、多職種連携に向けた行動計画

- 1) 多職種が共通認識を持ち、連携して骨折予防に取り組める体制作り
- ① 定期的なチーム会の開催(奇数月第4水曜日)
- ② 情報共有記録様式を適切に記載し取り扱う。  
(カルテ記載、追跡調査用紙等を多職種が記載、入力をする)

## 3. 成果の可視化と継続的改善に向けた行動計画

- 1) 活動成果を可視化し課題を整理する。
- ① データの集計・把握(二次性骨折予防率、通院継続率等)



Do

Action

Check

## 1. 知識・専門性の向上への改善

- ① 理解度が不十分な項目や、マニュアルを継続的に理解するための勉強会の開催
- ② マニュアル内容の見直し、最新ガイドラインへの更新

## 2. チーム力、多職種連携への改善

- ① 地域との連携不足があれば、地域医療機関・施設との連絡体制の見直しをする

## 3. 活動成果向上への改善



- ① 再骨折事例を振り返り、転倒要因・生活指導内容を再検討する
- ② 成果を院内へ定期報告し、活動の認知度向上につなげる

## 1. 知識・専門性の向上に関する評価

- ・整形外科を担当する3病棟のスタッフで、リエゾン介入に対する共通認識のための勉強会を実施した
- ・整形外科医師による「大腿骨二次性骨折予防の重要性に関する」を開催した 後日全職員対象に動画配信された

## 2. チーム力、多職種連携に関する評価

定期的なチーム会として、奇数月第四水曜日に開催した医師、看護師、薬剤師、医事スタッフとともにリエゾン介入状況を共有した

## 3. 成果の可視化と継続的改善に関する評価

地域と連携し介入者の継続について確認している  
返信された追跡調査用紙については当院で決めたルールに従って入力管理している

